



神小たより

ホームページアドレス <http://kamiyama-es.agano.ed.jp/>

阿賀野市立神山小学校

学校だより 9月号

保護者・地域版

H29. 9. 12



「99名全員で2学期を迎えられた『幸せ』をかみしめて、40年の歴史と伝統を受け継ぎ、未来へ向かって進んでいこう！」

校長 鈴木 正彦

長い夏休みが終わり、神山小学校99名の元気な顔が戻って来ました。神山小学校職員一同、これほどうれしいことはありません。1学期終業式で伝えた、「9月1日の2学期の始業式には、全員元気な笑顔を見せること。」の約束を、全員守ってくれました。「心より、ありがとう！」「本当にありがとう！」

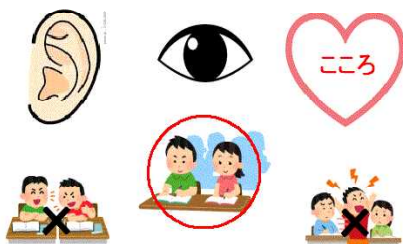
現在各教室、廊下等に、夏休みの子どもたちの自由研究、工作、習字等の作品が展示されています。どれも力作揃いです。夏休みの一人一人の努力は、必ず大きな力となって成長へとつながります。2学期の子どもたちの成長が楽しみです。

さて、今年度は創立40周年ということで、子ども達は学習や運動に張り切ってがんばっています。

そこで、40周年の節目ということもあり、日ごろから子ども達へ伝えている、学校生活だけでなく今後生活していく上で大切なことを、全校朝会で改めて確認しました。

- 先生や友達の話は、「目と耳と心で聴くこと」が大切です。よい聴き手がいることで、話をする人は気持ちよく話すことができます。うれしくなります。
- 相手の心が温くなる「ありがとう」「おはよう」「ごめんね」などの言葉（あったか言葉）を積極的に使いましょう。特に、「ありがとう」は、相手の心を瞬時に温かくして、人間関係もよくなる「魔法の言葉」です。
- しっかりと勉強し友達と仲良く活動するには、きれいな教室、使いやすい筆入れ、見やすいノート、よい姿勢、靴の正しいはき方などの、整った環境が大切です。

せんせい ともだち はなし め みみ こころ き
先生やお友達の話は、目と耳と心で聴いていきますか？



上記のような掲示物を作成、全教室に掲示し意識して取り組んでいます。現在あらゆる方面で活躍している神山小学校の卒業生も、40年の歴史の中で「話を聴く」ことや「あったか言葉」の必要性を学び、その大切さを肌で実感していることと思います。

創立40周年記念行事として、今後9月12日（火）にPTA講演会（三遊亭慎楽さんによる落語独演会）、10月4日（水）の劇団「ひまわり」による演劇鑑賞会（5、6年生も出演します）、10月21日（土）には、記念式典・学習発表会が行われます。

在校生、卒業生、保護者・地域の皆様と共に、これまでの神山小学校の歴史と伝統を引き継ぎ、未来へ向かって力強く進んでいこうとする気持ちを育む契機としたいと思います。ぜひ、多くの皆様のご来校をお待ちしております。

最後に、99名全員で2学期を迎えられた「幸せ」をかみしめて、2学期も職員一同神山小学校の子どもたちの笑顔のために、全力で教育活動に取り組んでまいります。保護者・地域の皆様のご支援とご協力のほど、どうぞよろしくお願ひいたします。